

2/23 [日]

10:00 ~ 16:00

見学無料

場所：宮城県仙台市若林区三本塚字中谷地 26-3

三本塚の家 復興現場見学会

上記の日程で建主様の御厚意と、大工塾関係者の皆様の御協力により現場見学会を開催させていただくことになりましたので、御案内申し上げます。



平成 25 年度国土交通省
「木造住宅施工能力向上、継承事業」
被災地宮城における伝統的な大工技術を
身につけた若手大工技能者の育成事業（大
工塾）のモデルハウスとして、建主様の
御了解の下、建設しております。

この住宅の監修・基本計画は、住まい・まちづくり支援ボードの岩田
司先生（独立行政法人建築研究所）、阿部利広氏（阿部建築研究所）、
奥田徹氏（地域住宅工房奥田設計室）が行っている。

また、復興まちづくり支援のコーディネーターを務める、東北工大・
新井信幸氏とも連携・協力して頂いております。

この住宅は、極めて高い断熱気密性能（Q 値 1.6 以下、C 値 1.0 以下が
目標）をもち、床下に熱源を設置し、室内空気を循環させる画期的な「地
域型木造住宅のモデルハウス」としてまとめられた。床下暖房システ
ムについては、YUCACO システム研究会の廣石和朗氏、櫻井良一氏が
技術的な支援を行っている。

物件概要

1 階床面積 79.49 m² (24 坪) 2 階床面積 49.68 m² (15 坪)

延べ面積 129.17 m² (39 坪) 建築面積 92.76 m² (28 坪)

「地域型木造住宅のモデルハウス」をコンセプトとし、極めて高い断熱気密性能・室内空気の循環性能を重視し基本設計がまとめられました。

木組みを見せる伝統工法でありながら、北海道の次世代省エネルギー基準（宮城基準の 1.5 倍）を満たす断熱性能確保（Q 値 1.6 以下、C 値 1.0 以下）を目指しています。

木材はすべて金山杉。材を刻んだ金山大工が建て方まで行い、後は地元の荒木棟梁が施工する二段階施工方式を採用しています。

間取りは広間中心型とし、限られた面積の中で、吹き抜けを支え、どこからでも見える大黒柱がこの家のシンボル。